

第4回全学実行委員会議事要旨

文責:阿部潤

本文書では以下の略称を用いる。

参加者の略称:

委員長(全学実行委員長)

局長(全学局長)

会計(全学会計)

榆(榆陵祭代表)

薬(薬学祭代表)

工(工学祭代表)

IFF(International Food Festival 代表)

農(農学祭代表)

獣医(獣医学祭代表)

歯(歯学祭代表)

医(医学展代表)

文(文系祭代表)

理(理学祭代表)

その他の略称:

各祭(北大祭を構成する上記の各種学祭)

委員会(委員会という場合、組織としての全学実行委員会を指す)

実委(実委という場合、会議としての全学実行委員会を指す)

事務局(北海道大学大学祭全学実行委員会事務局)

1,工学祭実行委員会からの議案

大きく3点ある。

- ・次回以降の全学実行委員会をできるだけ対面で開催すること
- ・オンラインでも参加ができるように、オンラインと対面のハイブリッドで全学実行委員会を開催すること
- ・全学実行委員会開催に当たる事務交渉などを行う担当者などは全力で委員会開催に向けて取り組むこと。

これらの根拠としては対面会議とオンライン会議の向き不向きにある。オンライン会議だと意思の

疎通が難しく、また会議前後のコミュニケーションによって得られるものがなくなってしまうからである。しかしオンライン会議にも移動しなくても良いというメリットが有る。ディスカッションを伴うような会議は対面で、情報共有や説明等が多い会議はオンラインで良いと考える。現在コロナ対応などで実委が議論の場となっている。そのため対面での開催をするのが良いのではないかと考える。

【採決結果】

承認:10、不承認:0、棄権:0により承認。実委の対面開催に関する google フォームを全学委員長が送信する。

2,投票方法についての議案

開催時期の投票について、できる限り各祭の意思を尊重するために、各祭につき 1 票のところを 2 票までにするという議案。

【採決結果】

承認:10、不承認:0、棄権:0により承認。

3,近況報告

大学事務との話し合いを行った。そして高等教育推進機構の建物内が使える日程を確認した。北大祭をやること自体には肯定的であったが、食品提供に関してはかなり難色を示していた。

BCP レベルの上昇に伴い、課外活動は全面的に禁止となった。

4,今までのまとめ

衛生基準について

最高気温が 25 度以上の場合は食中毒のリスクが上がる。そのため現段階では 9 月の上旬までは引き上げた状態の基準で、9 月中旬以降は例年通りの基準で行うこととしている。

レンタル用品について

レンタル用品の貸し出し業者さんの協力を 8 月中は得られない。9 月～中下旬であれば可能性があるが出店数によるところが大きい。10, 11 月の開催であればおそらく対応可能である。また祭開催の 3 ヶ月前までに開催時期が決定している必要がある。

ステージについて

9 月第 1 週～10 月第 2 週にかけては対応が難しいが、完全に不可能かどうかは日程による。

高等教育推進機構の借用について

借用が可能な日程は以下の通り

- ・8月31日から9月4日まで(トイレの改修工事がある可能性あり)
- ・9月10日から9月12日まで(トイレの改修工事がある可能性あり)
- ・11月6日、7日(5日に休校措置をとるのは不可能)

榆陵祭屋内参加団体で高等教育推進機構以外の場所を使う案について、工学部棟と、遠友学舎・クラーク会館を使う案があったが、前者は借用不可、後者は部屋数が足りない為厳しいとのことであった。

農)委員長へ質問。食品提供に関して大学事務が難色を示していたとのことだが、食品提供可能にする手応えはどのようなものであったのか。

委員長)食事すること自体が良くないということであった。もしクラスターが発生した場合食品提供をしていると北大の看板に傷がつくとのこと。

農)他の各祭の立場も気になるが、どこまで食品提供を行う態度を取るかが問題となる。貫き続けると大学側が最終的に祭り自体禁止とする事も考えられる。

工)事務の意見というのは佐藤補佐の私見の範囲を出ないのではないか。

委員長)佐藤補佐のほかにも三宅課長もいらっしゃって、両者とも食品提供を難しい旨を話していた。局長)話し合いに同席していたが、三宅課長のほうが食品提供に対して難色を示していたと感じた。

文)投票時に食品提供の有無で投票先が変わってくると思うが、食品提供をすることを前提に投票すればよいか。事務の方の話を聞いてのもの方針は変わらないか。

委員長)食品提供をしない場合は考えていないので、その方向で投票してほしい。

農)榆陵祭の意見を聞きたい

榆)食品提供がメインであるので、ありの方向でやっていきたいが、事務が黙っていないのであれば比較的安全な食品のみに限定する方法もあると考える。

獣医)獣医学祭としても食品提供を軸にしたい。研究室の展示のみだとオープンキャンパスと変わらない。食品提供の有無は獣医学祭の開催に深く関係する。食品提供する場合も強行するのではなく事務との交渉でうまくやってほしい。食品提供するとなったらコロナ対策のなどを詰めると思うので、入念な準備を事務にアピールすることも大切であると考えた。

委員長)コロナ対策チームのようなものを再編成する。進捗は追って連絡する。

IFFの意見を聞きたい。

IFF)榆陵祭と同じ意見。

5,開催時期についての投票

【投票の選択肢について】

- ①8月中
- ②9月1日～10日

③9月11日～30日

④10月中

⑤11月初旬

各祭の意見

獣医	③と④に投票する。秋の開催のほうが食品提供のハードルが下がる。また人員の確保も容易である。人種が8月の終わりに終了する予定であるため8月中の開催であると非常に厳しい。
楡	③と④を希望。食品提供の面が大きい。①と②は楡陵祭事務局の方の準備が間に合わない可能性がある。また⑤は寒すぎるため深夜機材番が大変な思いをされると考えられる。
医	④と⑤を希望。メインである4年生は夏休み中に試験があり運営が厳しい。また夏休み中だと帰省などにより人が来ないのではないかと。医学展としては食品提供は行わない予定なのでその点では問題ないが、北大祭が中止となることは避けたい。
工	③を希望。9月前半では制限が厳しい。また他の教室(文系棟や保健学科棟)を使えば高等教育推進機構の教室が使えないという問題はいくらか改善されるのではないかと。北大祭事務局の日程としてお盆休みなどで活動が8月下旬からとなる。そのため準備が間に合わない可能性がある。3日間開催も重視したい。中日という模擬店の準備・返却がない日がなくなってしまうと、模擬店の利益が少なくなってしまう。秋口は休校措置が得られないと考えると9月下旬が好ましい。万が一のことが起きても10月に延期ができることもある。
歯	④が第一希望、③が第二希望。実行委員の学年が①、⑤の期間は試験中であること。②、③の時期は帰省などの予定が入っている人も多いため、協力してくれる人が少ない事が考えられる。
薬	③が第一希望、④が第二希望。①、②は食品衛生、人員確保の問題で厳しい。二学期が始まると実習の関係で人員確保が難しい。
理	③、④を希望。8月は試験があつたりする。11月になると学会が入ってくる。
文	(※下記の質問の後)対面でやること、北大生全体としての形が保たれることを重視したい。屋内展示や食品提供の兼ね合いを考えると③、④に投票する。屋内の施設利用の交渉次第では⑤も入ってくる。
農	③が第一希望、④が第二希望。換気ができる頃を選んだ。楡の高等教育推進機構が使えないという問題は解決できそうであることも判断材料である。
IFF	③が第一希望。先輩方がいる間に祭りをやりたい。長期留学生を人員に加えるとなると④も選択肢に入る。

文) 高等教育推進機構が使えないことは大丈夫？

楡) 食品提供と高等教育推進機構の使用が問題。団体数を考えて食品提供が優先であると考え

た。

【投票結果】

①0 票

②0 票

③8 票

④9 票

⑤3 票

10 月中の開催を目指すことで決定した。

農)縮小案や食品がない場合などの制限付き開催についての議論はしなくてもよいのか。

委員長)コロナ対策案を適宜事務の方に提出していて、現在前任が作ったものに修正を加えてい

る最中である。近日中に共有する。局長の方から発言する

局長)なるべく多くのパターンを想定して対策案を練っていききたい。

農)今後このようなパターンで考えるということを示してくださるということか。

委員長)各祭に影響が出ることもあるので、実委で共有・議論していききたい。

農)いつ頃共有されるか

委員長)できれば 6 月中にはこのような話をしていききたい。しかし 10 月開催について事務と話し合

わなければならない事が増えた場合、そちらが優先となる。

局長)考えられるプランを事務局内でねっていききたい。また各祭には最悪のパターンを考えて準備を進めていただきたい。

6,今後の予定について

5 月 31 日(月)18:30～前期第 5 回全学実委:

詳細な開催日程の調整

6 月 14 日(月)18:30～前期第 6 回全学実委:

中止またはオンライン開催の決定時期について

6 月 21 日(月)18:30～前期第 7 回全学実委:

内容未定

※内容は前後する可能性あり

7,最後に

獣医)大学事務が食品提供をさせたくない理由は論理的なものなのか、感情的なものなのか

長)クラスターが発生した場合に食品提供をしていたという事象が良くないとのこと。

獣医) 北大程度の規模の大学祭なら感染者が出てもおかしくはない。一つ一つクラスター対策をしていけば事務も認めてくれるのではないか。全学実委などでクラスター対策について話し合ってもいいのではないか。

委員長) 北大生の感染者が増えている理由が会食である。それが原因になっている可能性がある。

獣医) アクリル板等の対策をすれば感染リスクは抑えられる。どのような環境で感染が起こっているのかを議論するといいと考えた。

会計) 各祭の会計のような立ち位置の人とコンタクトを取りたい

以上